

信用事業業務検定試験問題

第47回 農業融資財務分析基礎

2020年10月3日 実施

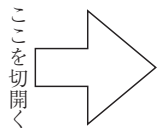
ご注意(試験開始前によく読んでください)

1. 答案を作成する前に、この冊子の裏表紙に印刷してある「答案作成上のご注意」をよく読んでください。
2. 解答用紙に記載されている受験番号・氏名が正しいかどうかを確認してください。誤りがある場合は監督者に申し出てください。
3. 試験問題は、監督者の合図があってから開封してください。
4. 試験問題は、連動する通信教育講座の内容に沿って作成しています。
5. 試験問題に関しては、印刷不明瞭な点以外の質問は受け付けません。
6. 不正な行為があったときは、解答はすべて無効になります。
7. 退席の際には、解答用紙は必ず監督者に直接手渡してください。
8. 新型コロナウイルス感染症対策のため、試験時間中を含め、マスクの着用をお願いします。体調がすぐれない場合は、監督者に申し出てください。
9. そのほか、監督者の指示に従ってください。

※ 本検定試験の優秀成績者については、当社機関誌等において所属団体・氏名等を公表することとしておりますが、ご同意いただけない方は下欄に記入の上、試験終了後、本紙をミシン目に沿って切り取り監督者にご提出ください。

私は、優秀賞(最優秀賞含む)を受賞しても所属団体・氏名等の公表に同意いたしません。

都道府県名	所属団体名
受験番号	氏名



答案作成上のご注意

① 所持品

受験票・鉛筆(HB)・消しゴム・電卓1台(ただし、金融計算・関数・メモ機能付を除く)

② 解答用紙の記入方法

- (1) 受験票の受験番号・氏名が解答用紙の受験番号・氏名と一致していることを確認のうえ、解答用紙の氏名欄にカタカナ名を記入してください。
- (2) コンピューターの印字がない白地の解答用紙を使用する場合は、受験票記載の受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入してください。
- (3) 解答用紙を折りまげたり、破ったりしないでください。また、解答用紙が著しくよごれたときは、監督者に申し出て新しい(白地の)解答用紙と取りかえてください。その際は、受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入のうえ、受験番号も忘れずにマークしてください。

③ マークの記入方法

この試験は、マーク・シート方式です。

- (1) 正しいマーク例 ● はみださないよう鉛筆で塗りつぶしてください。
- (2) 誤ったマーク例 ① ② ⊗ ⊙ 0
- (3) 訂正方法
消しゴムで跡が残らないようきれいに消してください。
消し方が不完全な場合には二重解答となり採点されません。

④ 本試験の正解は2020年10月8日(木)を目途に次のインターネットサイトに掲示いたします。 <https://www.nc-academy-answer.net/>

アクセスする際は、上記URLを直接入力するか、右記QRコードを読み取りして、ダイレクトにアクセスしてください。



(株)農林中金アカデミーのトップページからアクセスすると、アクセス集中によって長時間待たされる、あるいは操作が停止することになりますので控えてください。



株式会社 農林中金アカデミー

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目12番1号 新有楽町ビル6階
TEL 03-3217-3051(代表) FAX 03-3217-3083

農業融資財務分析基礎

連動する通信教育講座の内容や各種規定(統一版等)に基づき解答してください。

[問1] 青色申告に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 帳簿を作成すれば自動的に青色申告の事業者になれるわけではなく、事前に申請する必要がある。
 - b. 青色申告の事業者は、いくつかの税金計算の特例を使うことができる。
 - c. 青色申告の事業者になっても、帳簿の内容に虚偽があると、青色申告が取り消されることがある。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問2] 簿記に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸借対照表の借方(資産)と貸方(負債と資本の合計)は常に一致し、損益計算書の借方(費用)と貸方(収益)は常に一致する。
 - b. 損益計算書は、ある時点の経営成績を表したものである。
 - c. 複式簿記とは、仕訳を作らず家計簿を作るイメージで金額の増減を集計するものである。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問3] 決算書に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 法人は定款で決めた事業年度を計算期間として、その期間の利益をもとに法人税などを計算のうえ、期末から3か月以内に税務署に申告と納税をしなければならない。
 - b. 個人事業の1年間の収入と経費を集計して、所得金額を計算したものが損益計算書である。
 - c. 個人と法人のどちらであっても、決算書と税金の申告書を作る必要がある。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問4] 収入金額に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 農業に関する売上の収入金額は販売基準により計算され、出荷・納品・検収が終わった時点で販売されたと判断し、代金の収受に関係なく売上を認識する。
- b. JAから受け取る事業分量配当金は配当所得の収入になるので、農業所得の収入には含まれない。
- c. 農地を貸したことによる地代収入は不動産所得の収入になるので、農業所得の収入には含まれない。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問5] 棚卸しに関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 果物のうち、収穫時から販売又は消費等が終了するまでの期間が比較的長いもの及びいも類は、数量が僅少であれば棚卸しをする必要がない。
- (2) 農産物以外の棚卸資産の場合、今年の仕入の数量・金額と今年の期末棚卸高の数量・金額の合計が、今年売ることができ数量とその調達金額である。
- (3) 農産物の場合、期首棚卸高については、その販売価格を収入にプラスする。

[問6] 取得価額450,000円、取得時期・今年8月20日、耐用年数7年、償却方法・定額法の場合の耕うん機について、1年目の減価償却費と2年目の減価償却費の正しい組み合わせを1つ選びなさい(耐用年数7年の定額法償却率は0.143)。なお、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行う。

- (1) 1年目 64,350円 2年目 55,148円
- (2) 1年目 26,813円 2年目 64,350円
- (3) 1年目 26,813円 2年目 60,516円

[問7] 取得価額400,000円、取得時期・前年1月1日、耐用年数7年、償却方法・定率法の場合の固定資産について今年(2年目)の期末時点の未償却残高として、正しいものを1つ選びなさい(耐用年数7年の定率法償却率は0.286)。なお、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行う。

- (1) 285,600円
- (2) 203,918円
- (3) 114,400円

[問 8] 修繕費に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 現に使用している土地の水はけを良くするために行う砂利，碎石等の敷設に要した費用は，修繕費に該当する。
- (2) 用途変更のための模様替え，改造，改装に要した金額は，修繕費に該当する。
- (3) 地盤沈下した土地を沈下前の状態に回復するために行う地盛りに要した費用は，資本的支出に該当する。

[問 9] 人件費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 個人農家の場合は，自分自身に対して支払う給料も，経費にすることができる。
 - b. 生計が一緒である15歳以上の家族で，その年を通じて6月を超える期間，その事業に専ら従事している等，一定要件を満たす場合は家族に対する給料を経費にすることができる。
 - c. 農産物を従業員に配ることは，原則として，その従業員に対する現物の給与とされる。
- (1) 0
 - (2) 1つ
 - (3) 2つ

[問 10] その他の経費に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 農業用車両の自動車税や保険料については，経費計上することができる。
- (2) 経費の計上をするにあたり，既に発生しているがその年にまだ払っていないものについては経費として計上することができる。
- (3) 農業所得の計算上，農地の固定資産税は経費計上できるが，都市計画税は経費計上できない。

[問 11] 青色申告特別控除額に関する次の記述について，誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 令和2年分の所得税確定申告から現行65万円の青色申告特別控除額が55万円に変わるが，e-Taxによる申告(電子申告)または電子帳簿保存を行うことで，引き続き65万円の青色申告特別控除が受けられる。
- (2) 青色申告は，農業などの事業所得と不動産所得についてのみ認められた制度である。
- (3) 不動産や農業の所得の合計金額が65万円を下回っている場合は，所得金額までしか控除できないため青色申告特別控除により所得金額がマイナスになることはない。

[問 12] 肉用牛の特例に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 年間の売却頭数が1,500頭以下であることが、適用要件のひとつとされている。
 - b. 青色申告を選択していることが、適用要件のひとつとされている。
 - c. 肉用牛を市場を通さず売却していることが、適用要件のひとつとされている。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 13] 現金・預金に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 貸借対照表の資産の部の冒頭は、現金、普通預金、定期預金、その他の預金の順になっている。
- (2) 預金対借入金比率は、大きいほど財務状態が悪いと考えられる。
- (3) 貸借対照表の資産の部における預金には、プライベートな預金も含まれる。

[問 14] 固定資産の区分に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 有形固定資産、かつ非減価償却資産に該当する資産の代表例は、電話加入権である。
- (2) 取得価額10万円以上、かつ使用可能期間が1年未満の農機具は、経費ではなく固定資産になる。
- (3) 非減価償却資産とは、時の経過や使用により価値が減少しない固定資産をいう。

[問 15] 事業主が従業員に払う給与につき行う源泉徴収に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 従業員に払う給与から所得税を源泉徴収し、翌月末日までに税務署に納付しなければならない。
- (2) 納期の特例を適用すると、1月から6月までに源泉徴収した税額は7月10日までに、7月から12月までに源泉徴収した税額は翌年1月20日までに納付することができる。
- (3) 従業員から源泉徴収した税額は、一般的に「預り金」という科目で処理される。

[問 16] 事業主勘定と元入金に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 事業主勘定において、今年の事業主貸と今年の事業主借は1年以上繰り越すことはなく、翌年に儲けと一緒に元入金に足し引きする。
- (2) 翌年の元入金は、次の算式で表すことができる。
翌年の元入金 = 今年の元入金 + 今年の所得金額 - 今年の事業主貸 + 今年の事業主借
- (3) 元入金は会社でいうところの資本金であるが、この金額は資本金と同様、基本的には毎年変わらない。

[問 17] 各種所得の金額が下記のとおりである場合、損益通算後の所得金額として正しいものを1つ選びなさい。

<各種所得>

給与所得 150 不動産所得 250 事業(農業)所得△ 50 雑所得△ 20

- (1) 350
- (2) 330
- (3) 200

個人農家の下記資料を基に、[問 18]～[問 22] に答えなさい。

損益計算書 (単位：円)

収入金額	販売金額	7,800,000
	農産物の期首棚卸高	180,000
	農産物の期末棚卸高	160,000
	小 計	(①)
必要経費	租税公課	100,000
	種苗費	110,000
	肥料費	300,000
	農具費	80,000
	農薬・衛生費	270,000
	減価償却費	140,000
	利子割引料	30,000
	雑 費	120,000
	小 計	1,150,000
差引金額	(?)	
貸倒引当金 繰戻額	55,000	
専従者給与	2,760,000	
貸倒引当金 繰入額	(②)	
青色申告特別控除額	650,000	
所得金額	3,225,500	

貸借対照表 (単位：円)

科 目	資 産		負債・資本		
	1月1日	12月31日	科 目	1月1日	12月31日
現 金	230,000	280,000	借入金	1,400,000	(?)
普通預金	1,200,000	1,450,000			
売掛金	1,000,000	900,000	貸倒引当金	55,000	49,500
農産物	(?)	(③)			
農機具等	850,000	710,000	事業主借		0
			元入金	2,005,000	2,005,000
事業主貸		3,530,000	(?)		3,875,500
合 計	3,460,000	7,030,000	合 計	3,460,000	(④)

[問 18] ①に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 7,820,000
- (2) 7,800,000
- (3) 7,780,000

[問 19] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 55,000
- (2) 49,500
- (3) 0

[問 20] ③に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 7,800,000
- (2) 180,000
- (3) 160,000

[問 21] ④に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 7,030,000
- (2) 5,930,000
- (3) 3,460,000

[問 22] この個人農家の決算書の分析として、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 専従者給与として2,760,000円が計上されているので、事業主本人と生計が一緒である配偶者その他の親族への給与は2,760,000円である。
 - b. 翌年1月1日の元入金は、5,880,500円(2,005,000円+3,875,500円)である。
 - c. 事業主貸として3,530,000円が計上されているので、この金額が事業から事業以外に移っていると言える。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

農業法人の下記資料を基に、[問 23]～[問 30] に答えなさい。

貸借対照表
(令和 2 年 3 月 31 日時点) (単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	【2,550,000】	【流動負債】	【1,090,000】
現金預金	1,230,000	買掛金	470,000
売掛金	1,000,000	未払金	360,000
農産物等	260,000	預り金	110,000
仕掛品	115,000	未払法人税等	150,000
(①)	△55,000		
【固定資産】	【10,100,000】	【固定負債】	【1,450,000】
(有形固定資産)	(10,100,000)	長期借入金	1,450,000
建 物	1,670,000		
農機具	460,000	負債の部 合計	2,540,000
果樹・牛馬等	300,000	純資産の部	
育成仮勘定	470,000	【資本金】	【3,000,000】
土 地	7,200,000	【利益剰余金】	【7,110,000】
		繰越利益	7,110,000
		純資産の部 合計	10,110,000
資産の部 合計	12,650,000	負債・純資産 合計	12,650,000

損益計算書

(自 平成31年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月31日) (単位：円)

【売上高】		9,300,000
【売上原価】		
期首農産物棚卸高	(②)	
当期農業原価	5,700,000	
合 計	5,930,000	
期末農産物棚卸高	260,000	5,670,000
売上総利益		3,630,000
【販売費及び一般管理費】		2,750,000
営業利益		880,000
【営業外収益】		
貸倒引当金戻入	66,000	
雑収入	90,000	156,000
【営業外費用】		
支払利息	100,000	100,000
(③)		936,000
税引前当期純利益		936,000
法人税，住民税及び事業税		320,000
当期純利益		616,000

株主資本等変動計算書

(自 平成31年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月31日) (単位：円)

	資本金	資本準備金	利益剰余金		純資産合計
			利益準備金	繰越利益	
当期首残高	3,000,000	0	0	6,494,000	9,494,000
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益				616,000	616,000
当期変動合計	0	0	0	616,000	616,000
当期末残高	3,000,000	0	0	(④)	(?)

[問 23] ①に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 未収金
- (2) 貯蔵品
- (3) 貸倒引当金

[問 24] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 360,000
- (2) 230,000
- (3) 115,000

[問 25] ③に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 経常利益
- (2) 特別利益
- (3) 受取利息

[問 26] ④に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 10,110,000
- (2) 7,110,000
- (3) 2,540,000

[問 27] 営業利益率として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 94.0%
- (2) 24.2%
- (3) 9.5%

[問 28] 流動比率として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 20.2%
- (2) 25.2%
- (3) 233.9%

[問 29] 自己資本比率として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 79.9%
- (2) 56.2%
- (3) 23.7%

[問 30] 労働生産性の計算式として、正しい組み合わせを1つ選びなさい。

労働生産性 = (A) ÷ (B)

- (1) A 人件費 B 付加価値額
- (2) A 人件費 B 従業員数
- (3) A 付加価値額 B 従業員数

[問 31] 資金繰りでよく出てくる言葉である「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 農業における収入金額の計算は販売基準でカウントするため、現金の裏付けがある。
 - b. 商品を販売すればその回収が現金であろうが掛けであろうが、「売上」の事実をもって収入金額(収益)と認識する考え方を発生主義という。
 - c. 商品を販売すると商品の引渡しと同時に代金を受け取る現金主義は、現金の裏付けがある。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 32] 「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、「損益計算」と「収支計算」にズレがないものを1つ選びなさい。

- (1) 商品を12,000円で仕入れ、ただちに現金で支払った。また、この商品を16,000円で売り上げ、同時に現金で受け取った。
- (2) 商品を12,000円で仕入れ、ただちに現金で支払った。また、この商品を16,000円で売り上げ、代金は掛けとした。
- (3) 収穫した農産物の販売価格は16,000円であるが、実際に現金で販売したのは12,000円であった。なお、この農産物には種苗費等の原価9,000円がかかっており、現金で支払い済みである。

〔問 33〕 損益計算と収支計算に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 現金で商品を仕入れ、この商品を掛けで販売した場合、損益計算と収支計算は一致せず、「勘定合って銭足らず」の状態になる。
- b. 商品を掛けで仕入れ、この商品を現金で販売した場合、「損益計算上の利益<収支計算上の収支」となる。
- c. 前期から繰り越された未販売農産物が15,000円(販売価格)、当期末に10,000円(販売価格)の未販売農産物が発生している。このとき前期の未販売農産物を含めた当期の実際の売上が100,000円だった場合の当期利益は110,000円となる。なお、売上原価については考慮しなくてよい。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

〔問 34〕 次の取引のうち、現預金の月末残高として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい(現預金の月初残高200,000円とする)。

- ① 商品を100,000円で仕入れ、代金は掛けとした。
- ② 商品を200,000円で売り上げ、代金は掛けとした。
- ③ ②の掛け代金のうち150,000円を、手形100,000円と現金50,000円で受け取った。
- ④ ③で受け取った受取手形が決済され普通預金に入金された。
- ⑤ 以前振り出していた支払手形50,000円が決済され、当座預金から引き落とされた。
- ⑥ 月次決算において、減価償却費50,000円を計上した。

- (1) 200,000円
- (2) 300,000円
- (3) 350,000円

〔問 35〕 仕入と売上原価に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 「売上原価」とは、その仕入金額のうち、売上に貢献した部分をいう。
- b. 前年から繰り越された商品が売れた場合、その分、利益率は向上する(仕入単価は同じ)。
- c. 仕入れたモノのうち、売れ残っている部分も売上原価になる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 36] 在庫に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 一般的に在庫は資金繰りの観点から非常に重要であるが、不良化や陳腐化の発生は資金繰りにはあまり影響しない。
 - b. 農産物に適用される収穫基準では在庫(未販売農作物)が発生したときは、売上原価から除かれるのではなく、売上(収益)に加算することで調整される。
 - c. 仕入、売上ともすべて現金取引とした場合、在庫が発生しなければ、損益計算の利益と収支計算の収支が一致する。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 37] 経費に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 当年に支払った来年分の地代の場合、損益計算上の経費計上と収支計算上の経費支出にタイムラグが生じる。
 - b. 経費の中に種苗費、種付料、素畜費、肥料、農薬などがある場合でそのうち育成中の果樹や牛馬に関するものがある場合は、それらは経費ではなく資産計上することになる。
 - c. 貸倒引当金は実際の支出が先で経費の計上が後となり、貸倒引当金の繰入れは減価償却費と同様でお金の支出が伴わない。
- (1) 0
(2) 1つ
(3) 2つ

[問 38] 取引にともなうお金のながれ(プロセス)について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 仕入→在庫→売上→売掛金→受取手形→現金収入
- (2) 仕入→支払手形→買掛金→現金支出
- (3) 仕入→在庫→売上→売掛金→支払手形→現金収入

[問 39] 仕入支出と売上収入に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 買掛金のサイト、支払手形のサイトが短ければ短いほど、お金が不足する期間は短くなる。
- b. 仕入れた商品が販売されお金になるまでに4か月かかり、その仕入代金をお金で支払うまでが3か月の場合、売上が伸びるとお金は不足しない。
- c. 商品を掛けて仕入れ、その商品を1か月後に20,000円で掛け売りし、その売掛金を1.5か月後に現金回収した。このとき買掛金を仕入時より1.5か月後に1か月のサイトの支払手形で支払ったら、お金は不足しない。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 40] 資金繰りに関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 資金繰りとは、その内容により「目先のお金の確実なやりくり」と「将来を見通した、計画的な、資金の運用と調達」に分けることができる。
- b. 資金繰りの悪化による倒産の原因として、大規模な設備投資の思惑が外れてしまったことや、人手不足による人件費の高騰などがあげられる。
- c. ある時点でお金の「出」が「入り」を上回ると予想された場合は、お金の「出」を少なくしたり、「入り」を大きくする以外に「入り」が「出」を上回ることはできない。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 41] 現金増減の法則に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 元入金が増えると、現金は増える。
- b. 減価償却費が増えると、現金は増える。
- c. 受取手形が減ると、現金は減る。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 42] 貸借対照表に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 前払金，貸付金，建物・構築物，農機具は，いずれも資産の部に表示される。
- (2) 貸借対照表の資産は，お金の調達状況を表している。
- (3) 貸借対照表の元入金は，事業主自身が投下したお金や，これまでの儲けのうち内部に留保してきた利益から成っている。

[問 43] 貸借対照表に関する次の記述について，誤っているものはいくつあるか，(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 最終的には事業主貸は「事業主への貸し」と捉えるため貸付金に，事業主借は「事業主からの借り」と捉えられるので借入金に集約される。
 - b. 貸借対照表の借方はお金の調達源泉を表し，貸方はお金の運用形態を表すものである。
 - c. 借入金は他人資本に該当するため，「事業主からの借り」である事業主借は他人資本に該当する。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 44] 資金貸借対照表に関する次の記述のうち，固定資金に該当するものはいくつあるか，(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 固定負債
 - b. これまで内部に蓄積してきた利益
 - c. 元入金
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 45] 固定資金の運用に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 資金貸借対照表上、流動資金の運用と調達および固定資金の運用と調達の境界線は右上がりが見望ましい。

資金貸借対照表

流動資金の運用	流動資金の調達
固定資金の運用	固定資金の調達

- (2) 固定資金として調達したお金は、流動資金の運用をまかなっても余裕があり、固定資金の運用にも流れている状態が見望ましい。
- (3) 資金繰りの面からは、固定資金の余裕よりも流動資金の余裕の方が重要である。

[問 46] 設備資金の調達と計画に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 設備資金を長期借入金により調達する場合には、その返済原資は必ず、毎年
の処分後利益の範囲内に収まるようにすべきである。
- b. 処分後利益とは、税引後利益から株主への配当金や役員に支払う賞与を差し
引いた後の利益のことである。
- c. 設備資金に充てる固定資金の不足解消のためにゴルフ会員権を売却し、その
売却資金を充当するのは資金不足解消の有効な手立てとなる。
- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 47] 流動資金の運用と調達に関する次の記述について、誤っているものを1つ
選びなさい。

- (1) 不足資金の調達方法を考える前に、資金不足の原因を究明することが大切で
ある。
- (2) 運転資金とは、流動資産から流動負債を差し引くことで計算される。
- (3) 営業運転資金の調達をする場合、まずは借入れに頼るべきである。

[問 48] 流動資金の運用と調達に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 手形の割引は、資金調達方法としてポピュラーであるが、多用は避けるべきである。
 - b. 当座貸越とは、たとえ口座の残高がマイナスになっても、一定金額までは引き出しも資金決済もできるという制度である。
 - c. 金利 1.5%で 800 万円の借入れをした場合の 1 年間の支払利息は、粗利益率 20%のビジネスの場合では売上高 100 万円分の利益に相当する。
- (1) 1つ
 (2) 2つ
 (3) 3つ

[問 49] 営業運転資金に関する下記の図について、正しいものを1つ選びなさい。

売掛金 (1,000,000 円)	買掛金 (100,000 円)
	預り金 (45,000 円)
農産物等 棚卸資産 (400,000 円)	

- (1) 運用している金額は、調達している金額よりもかなり多くなっているので資金不足の心配はない。
- (2) 売掛金の額から買掛金と預り金の合計額を引いた金額が、「営業運転資金」である。
- (3) 資金不足に備え、借入金の調達に限らず別の調達方法も考える必要がある。

[問 50] 売上債権管理，在庫管理に関する次の記述について，次のうち正しいものはいくつあるか，(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 常時必要な肥料等は豊富に手元に置いておくことにより，機動的に利用でき収穫に直結するため，資金繰りには余裕が持てる。
- b. 条件として決めた期日より早く代金を払ってくれた得意先に早かった日数に応じた金利相当分をディスカウントすることを売上割引という。
- c. 受取手形や売掛金，農産物は将来的な現金になるが，これらの資産が拡大すると資金繰りはひっ迫してくる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ